

## 目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～4
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 4
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 4～5
- ★ 全数把握感染症集計表 P 6
- ★ 定点把握感染症集計表 P 7～11
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 12～16
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 17～20
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 21～22
- ★ インフルエンザの流行が終息しました P 23～24
- ★ 今シーズンのインフルエンザの流行状況 P 25～26
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 27～



# 発生動向総覧

## ◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（富士（1）、中部（1）、西部（2）、浜松市（2））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌（東部（1）、富士（1）、静岡市（1）、中部（1）、浜松市（2））
- 4 類感染症 レジオネラ症（中部（1）、浜松市（1））
- 5 類感染症 クロイツフェルト・ヤコブ病（浜松市（1））、侵襲性肺炎球菌感染症（浜松市（1））、水痘（入院例）（浜松市（1））、梅毒（西部（1））、麻しん（西部（1））

## ◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所  
感染症情報センター

### 感染症発生動向調査

令和5年第26週(6/26～7/2)の動向

#### 警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

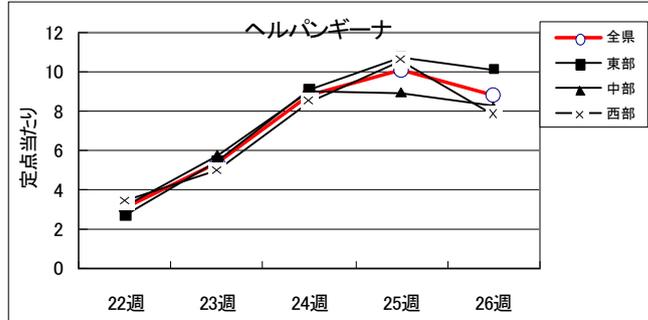
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

### 【今週のコメント】

ヘルパンギーナは、全県で罹患数773、定点当たり8.78の患者発生があり、前週の10.12から減少していますが、**流行の警報レベルの開始基準値の6を超え警報レベル中**です。

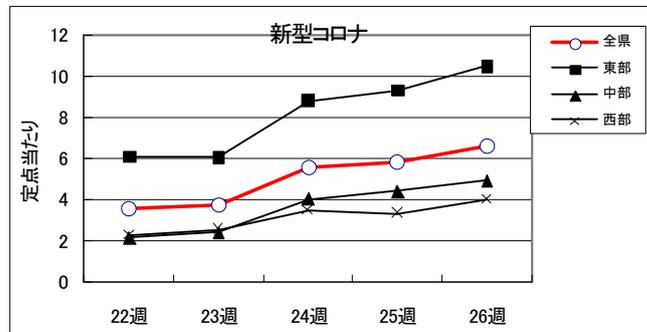
#### 【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数773、定点当たり8.78の患者発生があり、前週の10.12から減少した。定点当たり東部地区で10.13、中部地区で8.23、西部地区で7.83の患者が発生した。



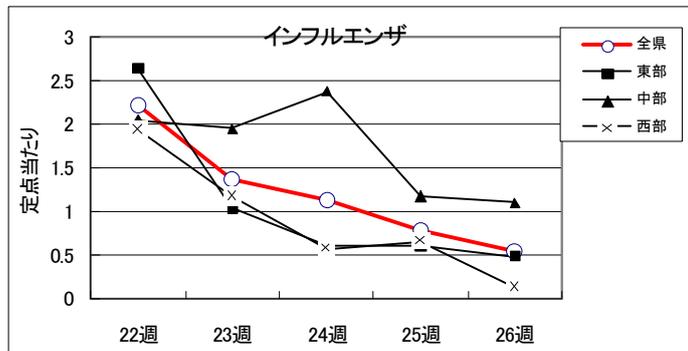
#### 【新型コロナ】

全県で罹患数915、定点当たり6.58の患者発生があり、前週の5.81から増加した。定点当たりは、東部地区で10.5、中部地区で4.93、西部地区で4.0の発生があった。



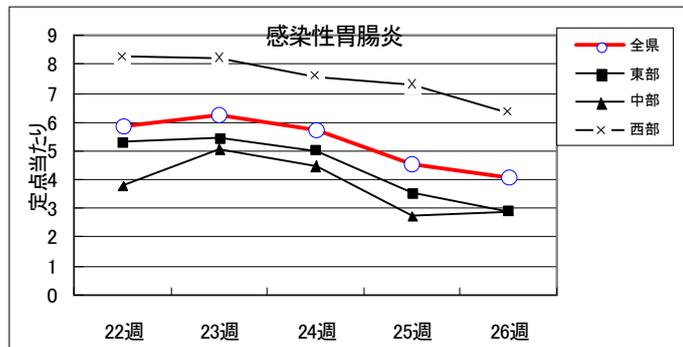
#### 【インフルエンザ】

全県で罹患数75、定点当たり0.54の患者発生があり、前週の0.79から減少した。定点当たりは、東部地区で0.48、中部地区で1.1、西部地区で0.13の発生があった。



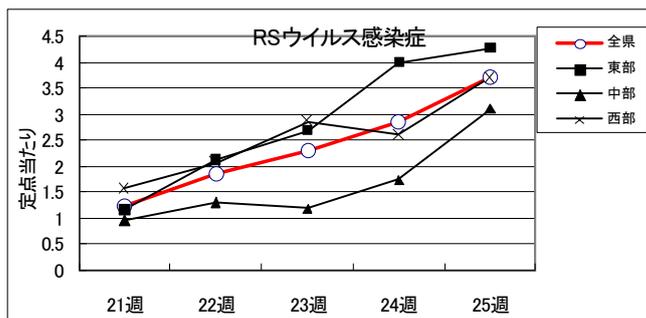
#### 【感染性胃腸炎】

全県で罹患数359、定点当たり4.08の患者発生があり、前週の4.56から減少した。定点当たり東部地区で2.91、中部地区で2.92、西部地区で6.33の患者が発生した。



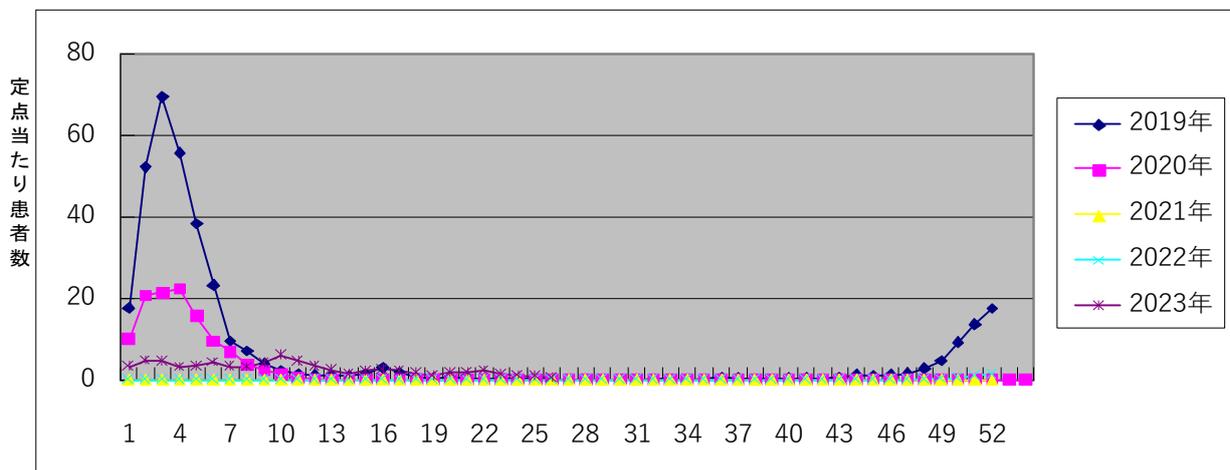
### 【RSウイルス感染症】

全県で罹患数336、定点当たり3.82の患者発生があり、前週の3.73から僅かに増加した。定点当たり東部地区で5.0、中部地区で3.08、西部地区で3.2の患者が発生した。



- ・麻疹は、西部地区で1人発生、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生は1.26で前週の1.29から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は3から7に増加した。
- ・静岡県において第26週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)ヘルパンギーナ(8.78)、2)新型コロナウイルス(6.58)、3)感染性胃腸炎(4.08)、4)RSウイルス感染症(3.82)、5)手足口病(0.93)、6)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(0.65)であった。

### 【インフルエンザ罹患数推移】

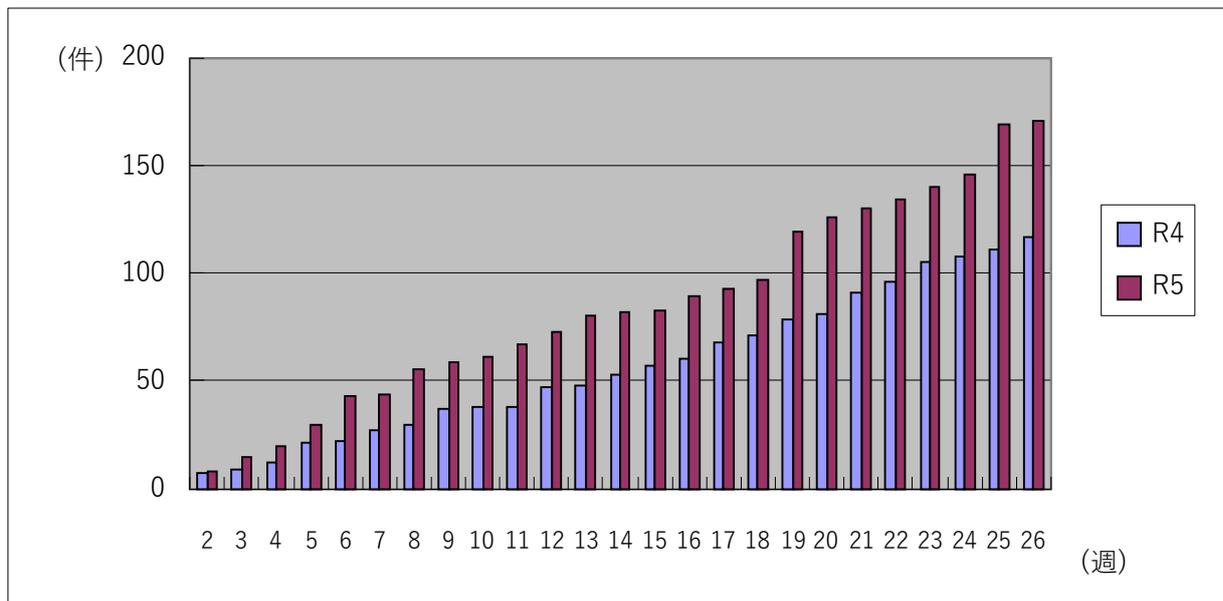


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】  
(令和4年36週～令和5年26週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9		5		
	静岡市	3		1		
	浜松市	0				
R5 1～5週	静岡県	14		11		
	静岡市	13		13		
	浜松市	1		1		
6～10週	静岡県	21		12		
	静岡市	10		8		
	浜松市	0				
11～15週	静岡県	15		12		
	静岡市	5		4		
	浜松市	0				
16～20週	静岡県	4	1	3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
21～25週	静岡県	4		2		
	静岡市	1				
	浜松市	0				
26週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・26週は前年同期比1.46倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 咽頭結膜熱(御殿場)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)  
ヘルパンギーナ(東部、御殿場、富士、静岡市、中部、西部、浜松市)  
注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第26週(令和5年6月26日~令和5年7月2日)

高野医院(伊東市)「新型コロナ 24名」

むらかみ小児科クリニック(伊東市)「インフルエンザB型(ヘルパンギーナ合併) 1名」

よざ小児科医院(沼津市)「新型コロナ 3名」

光ヶ丘小児科(三島市)「新型コロナ 10名、腸管アデノ 1名、RS 11名、ヒトメタニューモ 1名、咽頭アデノ 1名」

函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ 5名、ヒトメタニューモ 4名、RS 16名、咽頭アデノ 4名、腸管アデノ 2名、ヘルパンギーナ 18名、溶連菌 2名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 1名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 2名、新型コロナ 35名」

木村内科医院(富士市)「新型コロナ 4名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「新型コロナ 15名」  
幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 5名、新型コロナ 6名」  
聖隷富士病院（富士市）「新型コロナ 9名」  
瀬尾小児科内科医院（富士市）「新型コロナ 11名」  
田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 38名」  
谷口小児科医院（富士宮市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 8名」  
永松医院（富士市）「新型コロナ 1名」  
南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 1名」  
平野医院（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 5名」  
富士市立中央病院（富士市）「インフルエンザ 3名、新型コロナ 14名」  
富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 4名」  
三浦医院（富士宮市）「新型コロナ 3名」  
伊藤医院（湖西市）「インフルエンザA型 1名」  
クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモ 3名、咽頭アデノ 2名」  
げんきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 1名」  
おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(R4-R5シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,016名	98%
インフルエンザB型	98名	2%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

（「静岡県 感染症情報センター」で検索）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国				
		21週	22週	23週	24週	25週	今週	年累計	23週	24週	25週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
髄核		5	4	4	3	5	6	160	225	251	218	252	6,735
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													1
細菌性赤痢										2	1	2	17
腸管出血性大腸菌感染症					1	1	6	16	79	97	96	139	1,099
腸チフス									1	1	2		21
パラチフス										1			6
E型肝炎								1	13	7	13	10	308
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎												3	29
エキノコックス症												1	6
エムボックス								1	6	2	1	2	180
黄熱													
オウム病													5
オムスク出血熱													
回帰熱											3	2	10
キヤサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群			1					2	1	7	5	5	83
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱												1	2
つつが虫病									5	3	2	3	104
デング熱									2	2		1	34
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱						2		2	10	13	12	7	144
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													1
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア													
野兎病									1			1	8
ライム病											1	2	6
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
豚鼻疽													
レジオネラ症		1	1	1	2		1	28	47	131	73	60	976
レプトスピラ症													4
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢		1						10	5	5	5	5	245
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									3	3	2	3	130
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2		1			13	15	29	34	24	880
急性弛緩性麻痺										2		1	25
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1				13	8	4	10	5	248
クリプトスポリジウム症										1	1		4
クロイツフェルト・ヤコブ病					1		1	4	1	4	2	2	76
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1			11	11	19	7	18	417
後天性免疫不全症候群		1						4	12	12	9	11	474
ジアルジア症								2					24
侵襲性インフルエンザ菌感染症								5	8	13	14	16	249
侵襲性髄膜炎菌感染症									3			1	9
侵襲性肺炎球菌感染症							1	18	22	20	20	13	934
水痘(入院例に限る)		1		2			1	7	10	7	5	6	191
先天性風しん症候群													
梅毒		3	4	5	5	8	1	171	200	229	218	205	7,448
播種性クリプトコックス症			1					2	2	2	1	3	91
破傷風						1		2	4	8	5	4	44
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1		1		7	1	1	3	1	73
百日咳						2		5	17	24	30	13	419
風しん												1	8
麻疹					1		1	2		2	1	2	21
薬剤耐性アシネトバクター感染症											1	1	9
新型コロナウイルス等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

## 定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 26 週

	静岡県							全国				
	21週	22週	23週	24週	25週	今週	計	23週	24週	25週	今週	計
RSウイルス感染症	110	165	204	253	332	336	1,400	8,285	9,093	9,936	9,981	37,295
咽頭結膜熱	52	38	54	37	32	35	248	2,161	2,082	1,923	1,783	7,949
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	65	82	75	68	57	413	5,237	5,083	5,132	5,032	20,484
感染性胃腸炎	485	520	558	510	406	359	2,838	19,696	18,121	15,630	14,608	68,055
水痘	10	6	6	10	5	10	47	397	401	416	325	1,539
手足口病	38	54	78	88	90	82	430	2,057	2,412	2,779	2,878	10,126
伝染性紅斑	1	2	4	2	6		15	56	53	105	82	296
突発性発しん	38	31	33	37	18	30	187	984	982	975	936	3,877
ヘルパンギーナ	182	276	478	788	901	773	3,398	9,390	14,112	18,176	20,360	62,038
流行性耳下腺炎	2	4	5	8	4	1	24	287	281	279	202	1,049
インフルエンザ	251	309	189	157	110	75	1,091	6,688	6,344	5,896	6,238	25,166
新型コロナウイルス感染症	389	500	524	773	808	915	3,909	25,163	27,614	30,255	35,737	118,769
急性出血性結膜炎								15	8	9	7	39
流行性角結膜炎	4	3	4	2	3	3	19	238	240	257	266	1,001
細菌性髄膜炎	1						1	10	5	9	4	25
無菌性髄膜炎			1	1	2		3	14	13	13	14	44
マイコプラズマ肺炎			2	2	3	1	8	28	25	31	23	107
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1			5	6
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								3		2		5

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

# 定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 26 週

	静岡県						全国			
	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	今週	第23週	第24週	第25週	今週
RSウイルス感染症	1.24	1.85	2.29	2.84	3.73	3.82	2.64	2.90	3.16	3.17
咽頭結膜熱	0.58	0.43	0.61	0.42	0.36	0.40	0.69	0.66	0.61	0.57
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	0.73	0.92	0.84	0.76	0.65	1.67	1.62	1.63	1.60
感染性胃腸炎	5.45	5.84	6.27	5.73	4.56	4.08	6.29	5.77	4.98	4.65
水痘	0.11	0.07	0.07	0.11	0.06	0.11	0.13	0.13	0.13	0.10
手足口病	0.43	0.61	0.88	0.99	1.01	0.93	0.66	0.77	0.89	0.92
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.00	0.02	0.07		0.02	0.02	0.03	0.03
突発性発しん	0.43	0.35	0.37	0.42	0.20	0.34	0.31	0.31	0.31	0.30
ヘルパンギーナ	2.04	3.10	5.37	8.85	10.12	8.78	3.00	4.50	5.79	6.48
流行性耳下腺炎	0.02	0.04	0.06	0.09	0.04	0.01	0.09	0.09	0.09	0.06
インフルエンザ	1.81	2.22	1.36	1.13	0.79	0.54	1.36	1.29	1.20	1.26
新型コロナウイルス感染症	2.80	3.60	3.77	5.56	5.81	6.58	5.11	5.60	6.13	7.24
急性出血性結膜炎							0.02	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.18	0.14	0.18	0.09	0.14	0.14	0.34	0.35	0.37	0.38
細菌性髄膜炎	0.10						0.02	0.01	0.02	0.01
無菌性髄膜炎			0.10	0.10	0.20		0.03	0.03	0.03	0.03
マイコプラズマ肺炎			0.20	0.20	0.30	0.10	0.06	0.05	0.06	0.05
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00			0.01
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01		0.00	

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 26 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	336	3.82	35	0.40	57	0.65	359	4.08	10	0.11
賀茂	1	0.50			1	0.50	4	2.00		
熱海	7	1.75	1	0.25			3	0.75		
東部	75	5.77	9	0.69	4	0.31	64	4.92		
御殿場	38	9.50	13	3.25	24	6.00	7	1.75	2	0.50
富士	39	4.33	2	0.22	1	0.11	15	1.67	2	0.22
静岡市	60	3.75	1	0.06	7	0.44	41	2.56		
中部	20	2.00	4	0.40	1	0.10	35	3.50	3	0.30
西部	44	3.67	3	0.25	8	0.67	67	5.58	3	0.25
浜松市	52	2.89	2	0.11	11	0.61	123	6.83		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	82	0.93	0		30	0.34	773	8.78	1	0.01
賀茂	1	0.50			1	0.50				
熱海					2	0.50	19	4.75		
東部	3	0.23			2	0.15	110	8.46		
御殿場	2	0.50			2	0.50	45	11.25		
富士	9	1.00			2	0.22	150	16.67		
静岡市	8	0.50			6	0.38	120	7.50		
中部	15	1.50			2	0.20	94	9.40		
西部	21	1.75			8	0.67	112	9.33		
浜松市	23	1.28			5	0.28	123	6.83	1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	75	0.54	915	6.58	1	2	0	0	89	50
賀茂			31	10.33					2	1
熱海	2	0.33	67	11.17					4	2
東部			137	6.85					13	7
御殿場	8	1.33	136	22.67					4	2
富士	14	0.93	154	10.27					9	6
静岡市	12	0.48	122	4.88					16	9
中部	33	1.94	80	4.71					11	6
西部	2	0.11	97	5.11	1	1			12	7
浜松市	4	0.14	91	3.25		1			18	10

\*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 26 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		3	0.14	0		0		1	0.10
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士										
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			3	1.00					1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

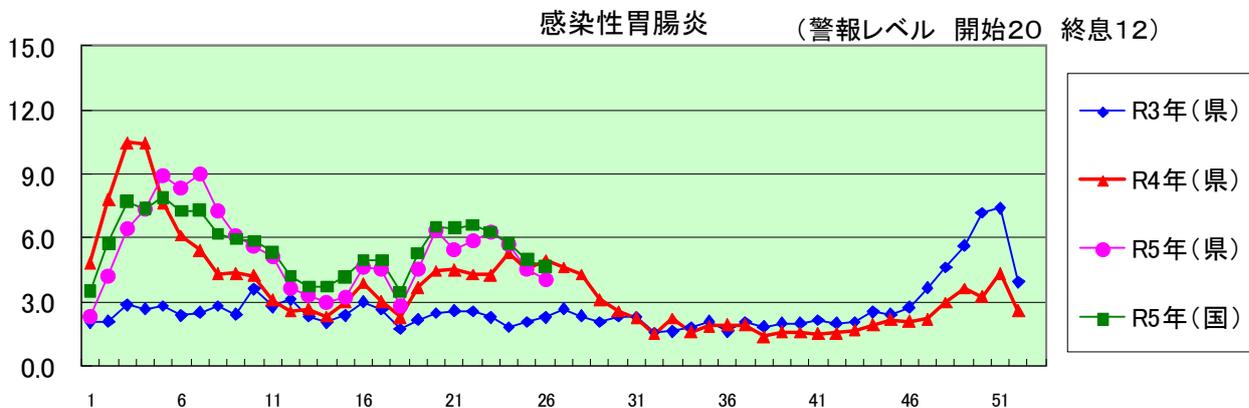
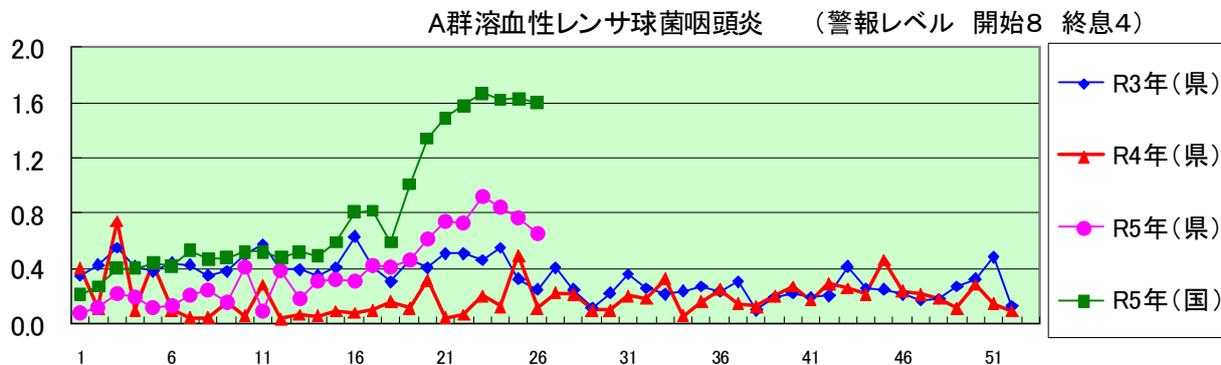
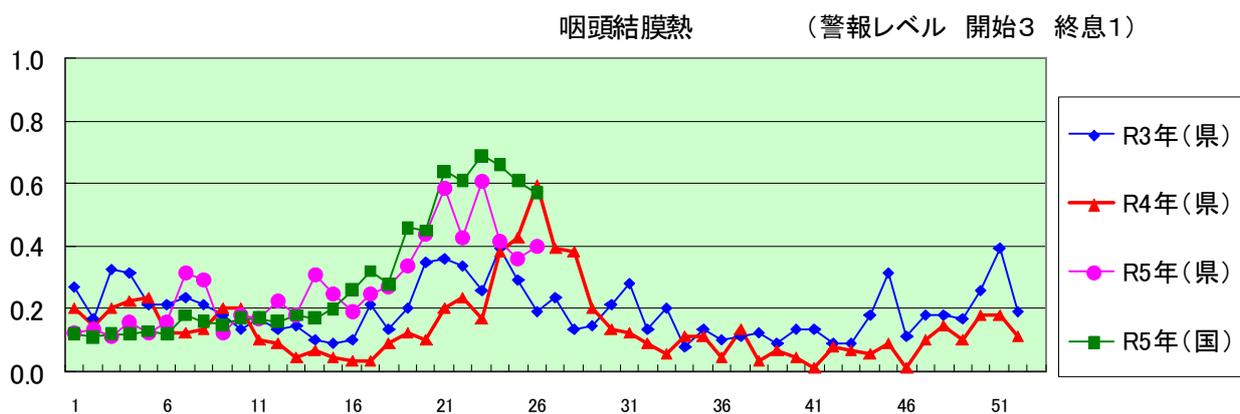
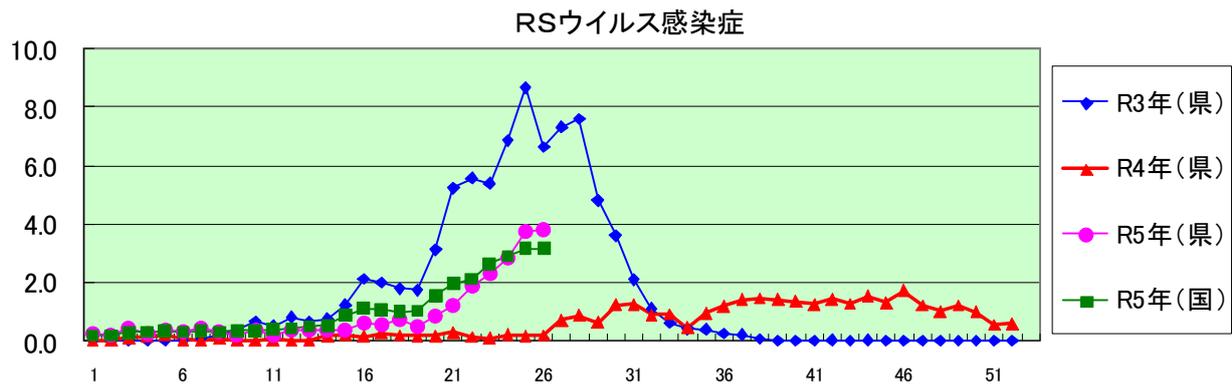
2023年 26 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	36	48	108	60	48	15	14	2	1	1	1				2							336
咽頭結膜炎		3	8	10	10	3	1															35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3	6	7	12	8	6	4	3	4	1	3							57	
感染性胃腸炎	2	26	57	42	43	43	36	26	25	9	13	26	2	9							359	
水痘			1			2			1	1		4	1							10		
手足口病		1	16	20	16	11	7	2	1	1	2	4	1							82		
伝染性紅斑																						
突発性発しん	1	9	10	5	2	2	1													30		
ヘルパンギーナ	2	50	152	154	121	109	84	47	31	9	4	8	2							773		
流行性耳下腺炎				1																1		
インフルエンザ		2	3	5	3	1	8	7	13	3	3	9	6	1	4	4	1			2		75
新型コロナウイルス感染症	7	8	11	11	8	12	13	15	16	24	25	97	62	118	87	112	116	61	59	53		915
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎						2									1							3
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎					1																	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

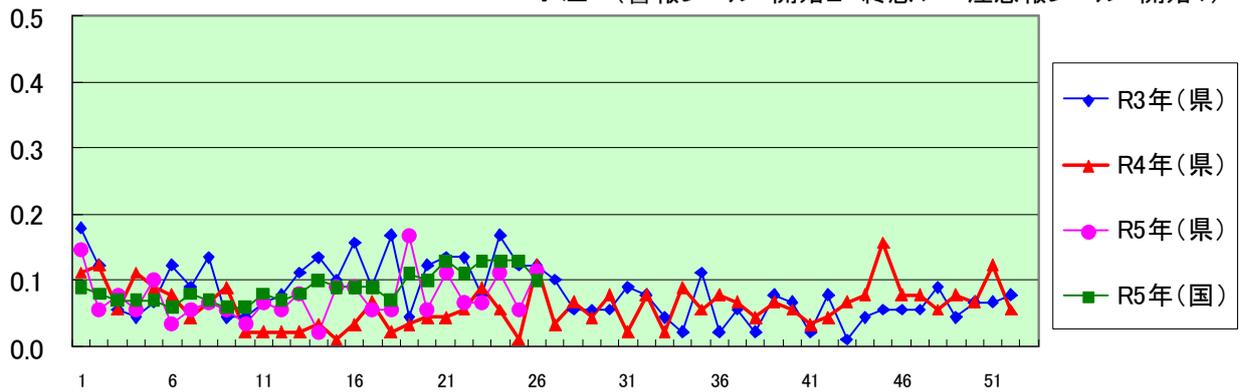
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 26 週

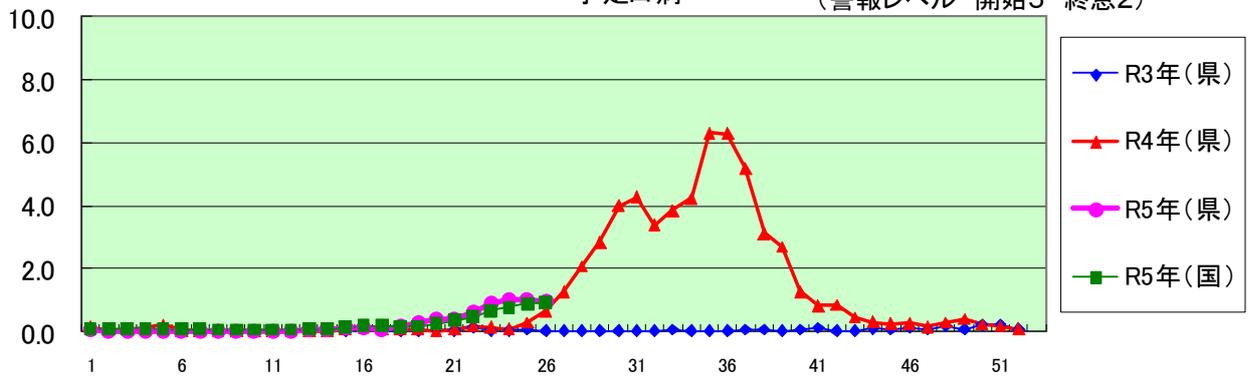
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.41	0.55	1.23	0.68	0.55	0.17	0.16	0.02	0.01	0.01	0.01			0.02							3.82	
咽頭結膜炎		0.03	0.09	0.11	0.11	0.03	0.01														0.40	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.03	0.07	0.08	0.14	0.09	0.07	0.05	0.03	0.05	0.01	0.03							0.65	
感染性胃腸炎	0.02	0.30	0.65	0.48	0.49	0.49	0.41	0.30	0.28	0.10	0.15	0.30	0.02	0.10							4.08	
水痘			0.01			0.02			0.01	0.01		0.05	0.01							0.11		
手足口病		0.01	0.18	0.23	0.18	0.13	0.08	0.02	0.01	0.01	0.02	0.05	0.01							0.93		
伝染性紅斑																						
突発性発しん	0.01	0.10	0.11	0.06	0.02	0.02	0.01													0.34		
ヘルパンギーナ	0.02	0.57	1.73	1.75	1.38	1.24	0.95	0.53	0.35	0.10	0.05	0.09	0.02							8.78		
流行性耳下腺炎				0.01																0.01		
インフルエンザ		0.01	0.02	0.04	0.02	0.01	0.06	0.05	0.09	0.02	0.02	0.06	0.04	0.01	0.03	0.03	0.01			0.01		0.54
新型コロナウイルス感染症	0.05	0.06	0.08	0.08	0.06	0.09	0.09	0.11	0.12	0.17	0.18	0.70	0.45	0.85	0.63	0.81	0.83	0.44	0.42	0.38		6.58
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎						0.09									0.05							0.14
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎					0.10																	0.10
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						



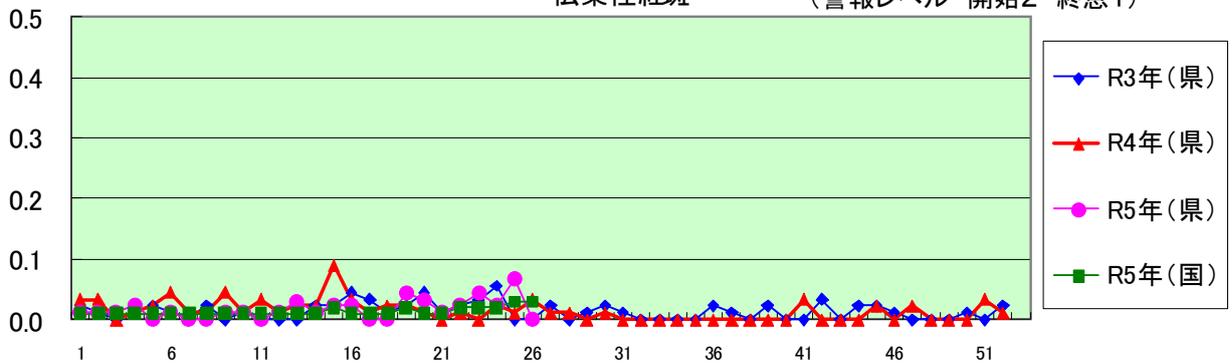
水痘 (警報レベル 開始2 終息1 注意報レベル 開始1)



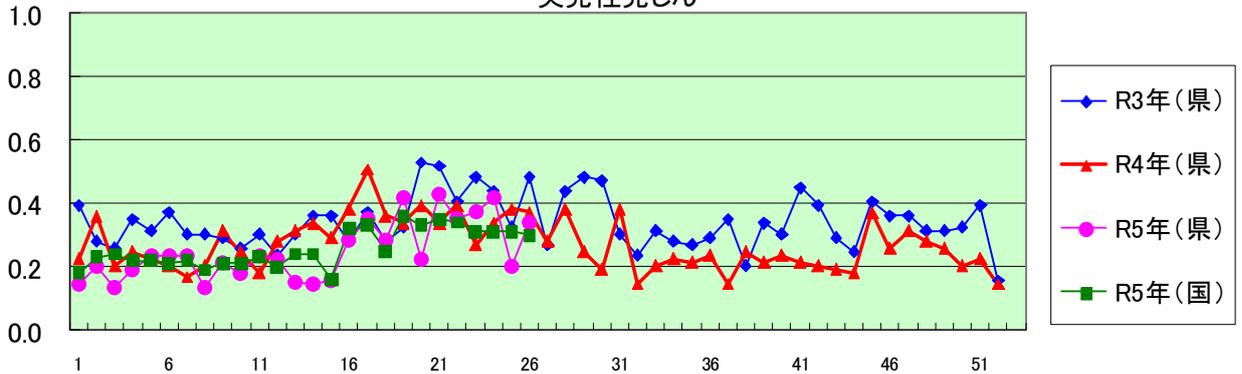
手足口病 (警報レベル 開始5 終息2)

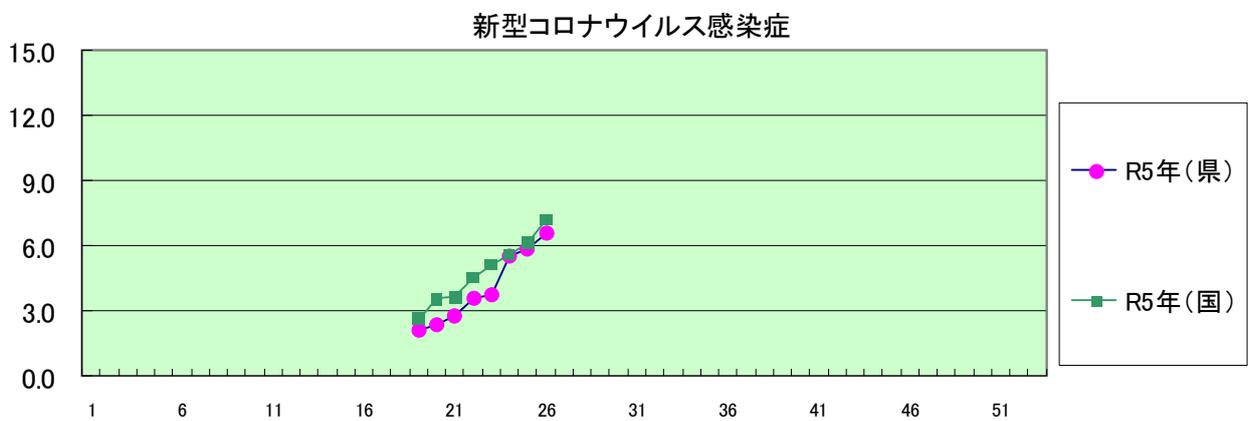
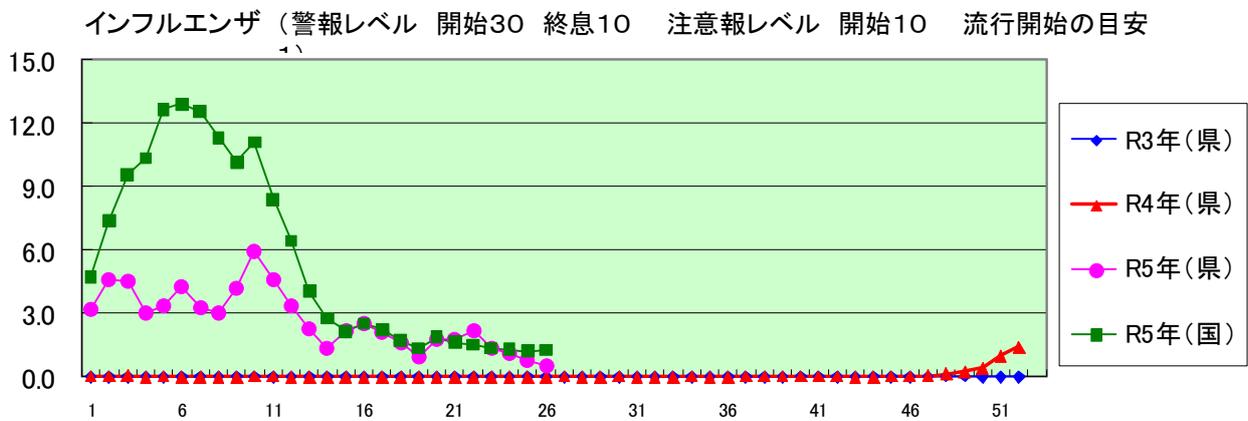
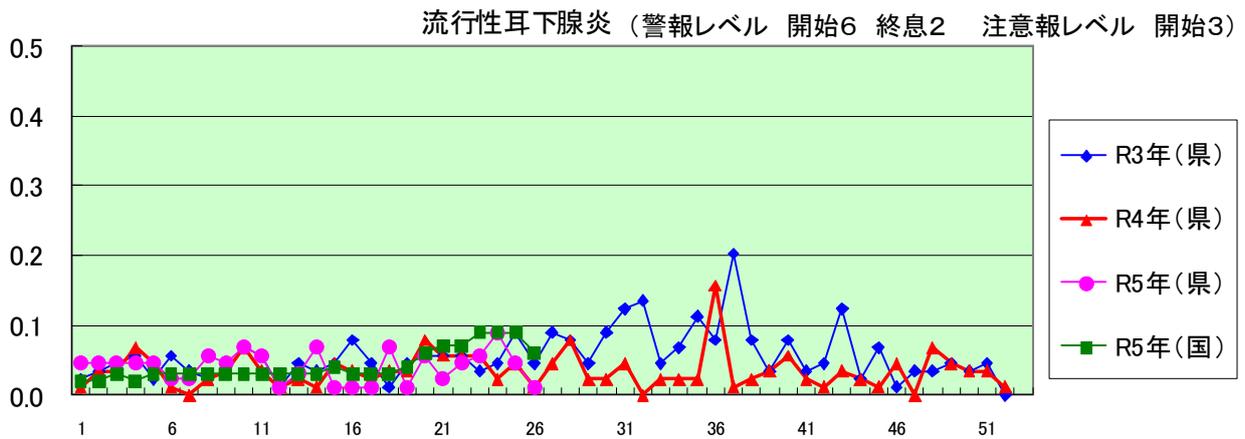
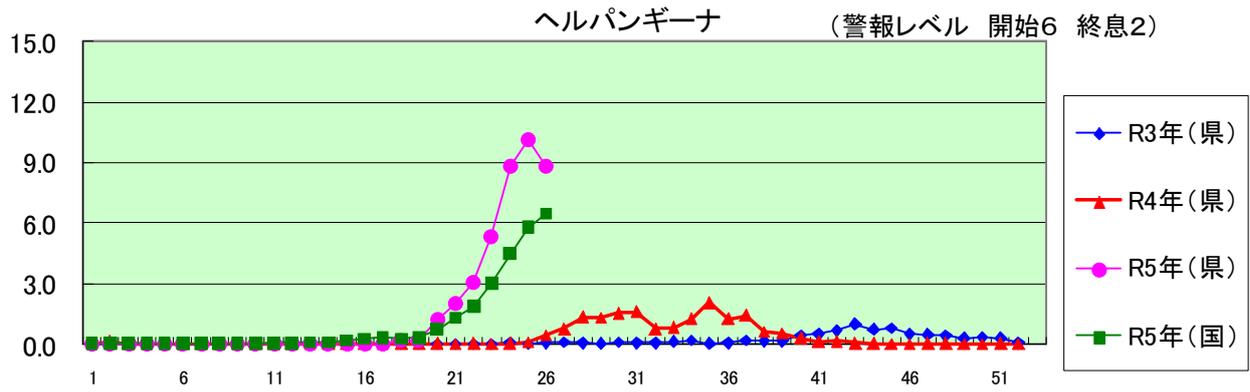


伝染性紅斑 (警報レベル 開始2 終息1)



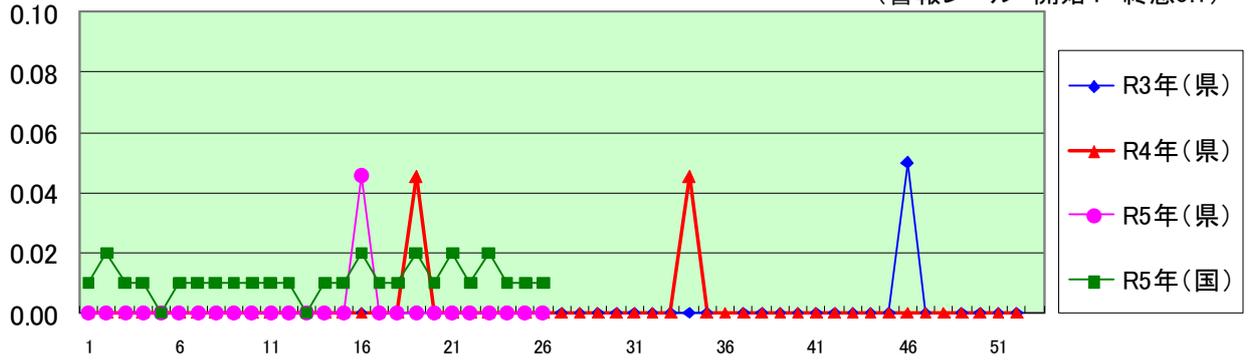
突発性発しん





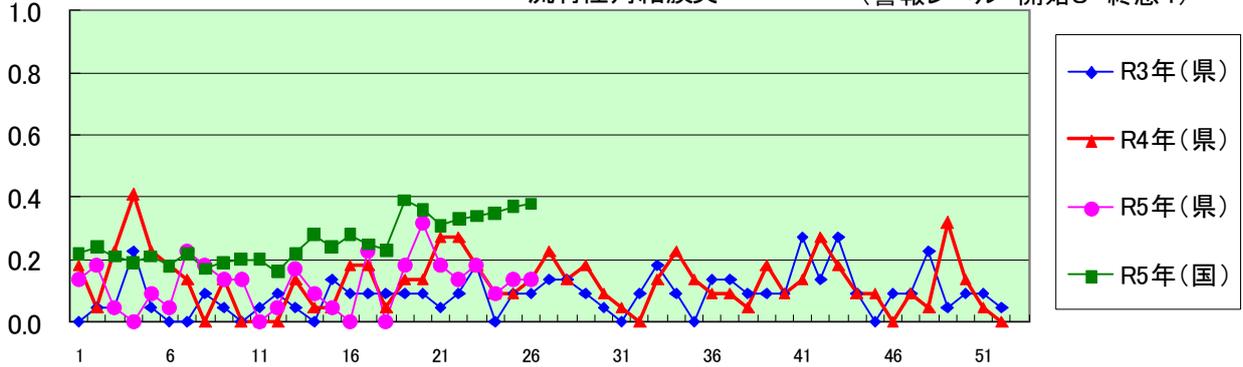
急性出血性結膜炎

(警報レベル 開始1 終息0.1)

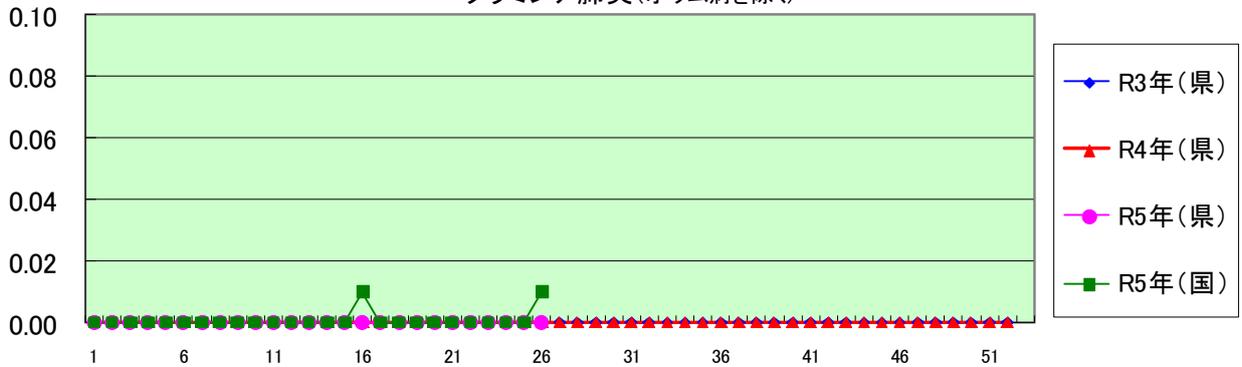


流行性角結膜炎

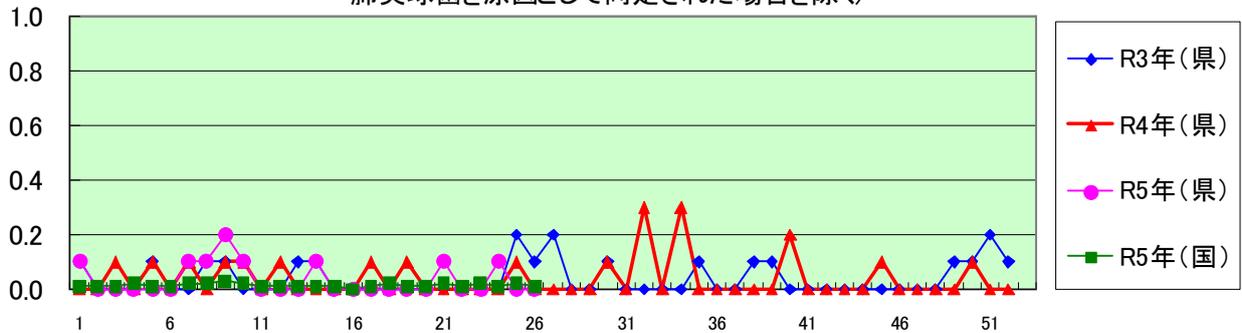
(警報レベル 開始8 終息4)



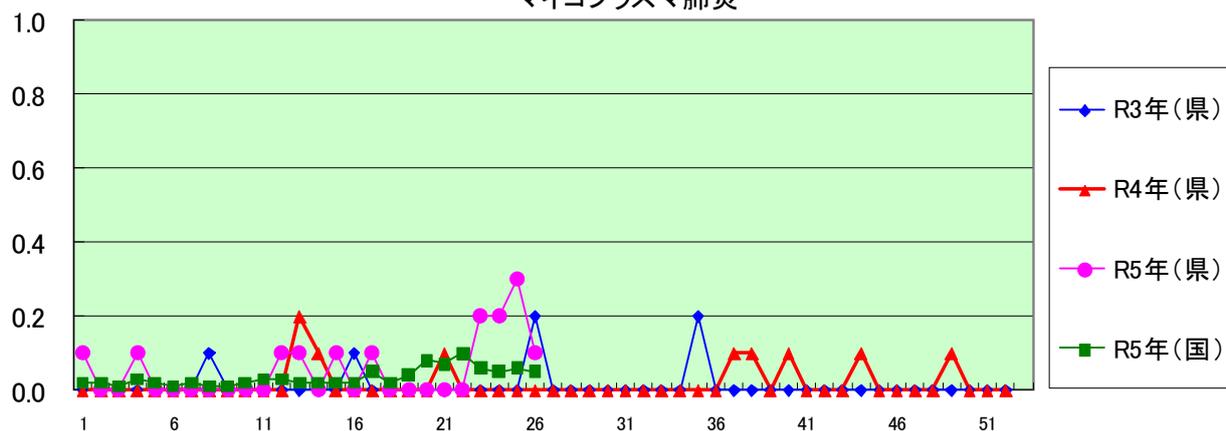
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



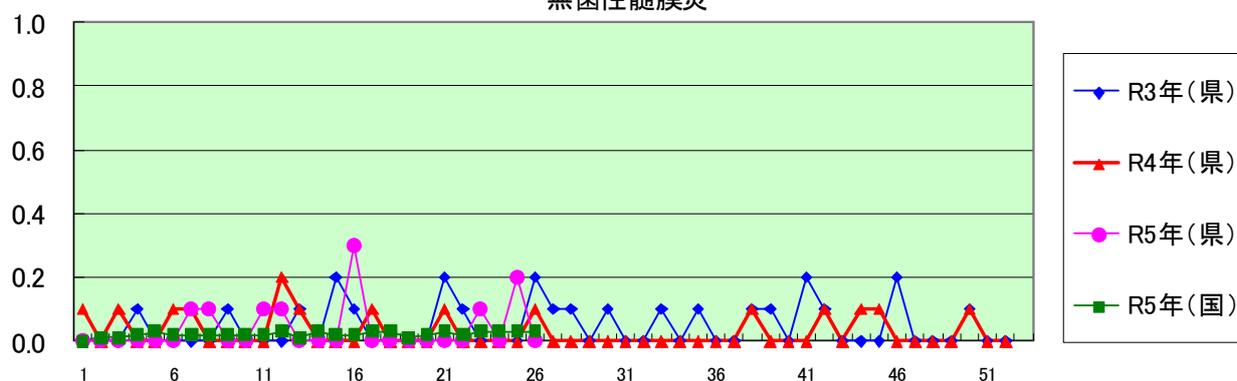
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



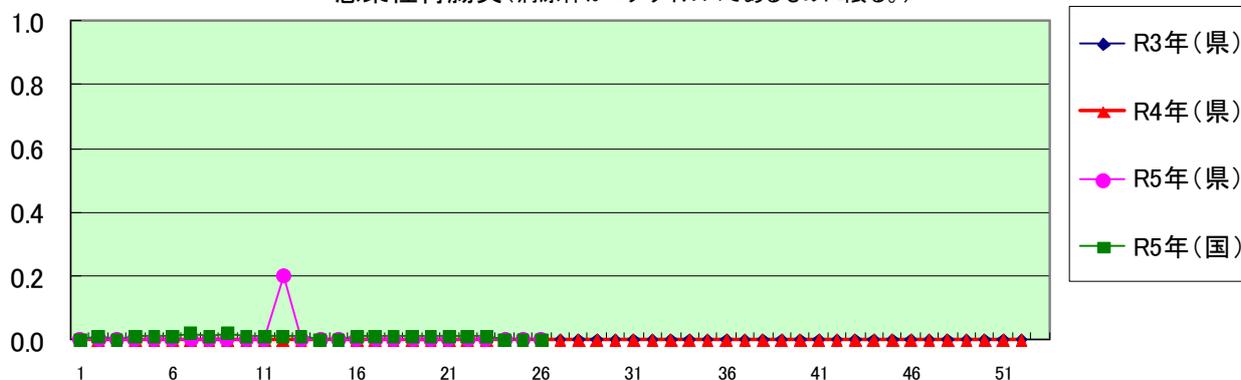
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎（オウム病を除く）、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

## 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	49	49	47	42	43	44	274	2,380	2,603	2,512	2,708	10,203
性器ヘルペスウイルス感染症	19	11	10	14	18	15	87	670	818	758	798	3,044
尖圭コンジローマ	6	10	12	12	20	12	72	526	577	562	610	2,275
淋菌感染症	11	18	11	20	8	13	81	691	857	773	831	3,152
性器クラミジア感染症(男)	18	16	19	12	13	13	91	1,227	1,330	1,302	1,410	5,269
性器クラミジア感染症(女)	31	33	28	30	30	31	183	1,153	1,273	1,210	1,298	4,934
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	4	1	2	7	5	24	249	315	293	317	1,174
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	9	12	11	10	63	421	503	465	481	1,870
尖圭コンジローマ(男)	3	6	9	1	8	3	30	352	372	379	410	1,513
尖圭コンジローマ(女)	3	4	3	11	12	9	42	174	205	183	200	762
淋菌感染症(男)	6	13	8	12	7	10	56	512	653	585	620	2,370
淋菌感染症(女)	5	5	3	8	1	3	25	179	204	188	211	782
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10	13	18	18	25	25	109	1,209	1,207	1,012	1,210	4,638
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								70	61	57	116	304
薬剤耐性緑膿菌感染症								10	8	4	8	30

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.63	1.63	1.57	1.40	1.43	1.47	2.42	2.66	2.57	2.76
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.37	0.33	0.47	0.60	0.50	0.68	0.84	0.78	0.81
尖圭コンジローマ	0.20	0.33	0.40	0.40	0.67	0.40	0.54	0.59	0.58	0.62
淋菌感染症	0.37	0.60	0.37	0.67	0.27	0.43	0.70	0.88	0.79	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.60	0.53	0.63	0.40	0.43	0.43	1.25	1.36	1.33	1.44
性器クラミジア感染症(女)	1.03	1.10	0.93	1.00	1.00	1.03	1.17	1.30	1.24	1.32
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.13	0.03	0.07	0.23	0.17	0.25	0.32	0.30	0.32
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.30	0.40	0.37	0.33	0.43	0.51	0.48	0.49
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.20	0.30	0.03	0.27	0.10	0.36	0.38	0.39	0.42
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.13	0.10	0.37	0.40	0.30	0.18	0.21	0.19	0.20
淋菌感染症(男)	0.20	0.43	0.27	0.37	0.23	0.33	0.52	0.67	0.60	0.63
淋菌感染症(女)	0.17	0.17	0.10	0.27	0.03	0.10	0.18	0.21	0.19	0.22
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	1.30	1.80	1.80	2.50	2.50	2.53	2.55	2.14	2.54
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.13	0.12	0.24
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	44	1.47	15	0.50	12	0.40	13	0.43
賀茂								
熱海	4	4.00					1	1.00
東部	2	0.40	1	0.20	1	0.20		
御殿場	4	4.00						
富士	12	4.00	6	2.00			7	2.33
静岡市	11	1.83	5	0.83	6	1.00	3	0.50
中部	5	1.25	3	0.75	2	0.50	2	0.50
西部	5	1.00						
浜松市	1	0.20			3	0.60		

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	2.50	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	2	2.00				
御殿場						
富士	1	1.00				
静岡市	12	6.00				
中部	1	1.00				
西部	4	4.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 5 月

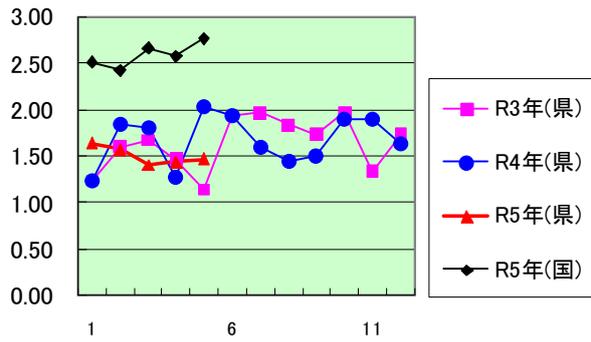
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	15	6	5	6	1	6	1	1				44
性器ヘルペスウイルス感染症					2	2	2	2	1		1	1	3			1	15
尖圭コンジローマ					1	1		4			2	1	2			1	12
淋菌感染症					2	2	1	1	1		3		3				13
性器クラミジア感染症(男)					1	3		2	2		4		1				13
性器クラミジア感染症(女)					2	12	6	3	4	1	2	1					31
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					1	1		1					2				5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	1	1		1	1	1			1	10
尖圭コンジローマ(男)								1			1		1				3
尖圭コンジローマ(女)					1	1		3			1	1	1			1	9
淋菌感染症(男)						1	1	1	1		3		3				10
淋菌感染症(女)					2	1											3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1								1		1	2	1	1	1	17	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

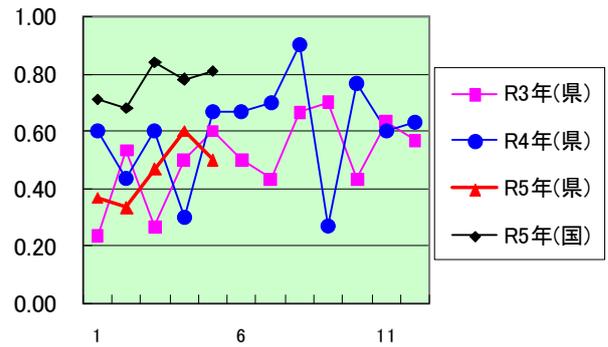
2023年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.50	0.20	0.17	0.20	0.03	0.20	0.03	0.03				1.47
性器ヘルペスウイルス感染症					0.07	0.07	0.07	0.07	0.03		0.03	0.03	0.10			0.03	0.50
尖圭コンジローマ					0.03	0.03		0.13			0.07	0.03	0.07			0.03	0.40
淋菌感染症					0.07	0.07	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.43
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.10		0.07	0.07		0.13		0.03				0.43
性器クラミジア感染症(女)					0.07	0.40	0.20	0.10	0.13	0.03	0.07	0.03					1.03
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					0.03	0.03		0.03					0.07				0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03			0.03	0.33
尖圭コンジローマ(男)								0.03			0.03		0.03				0.10
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.03		0.10			0.03	0.03	0.03			0.03	0.30
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.33
淋菌感染症(女)					0.07	0.03											0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.10								0.10		0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	1.70	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

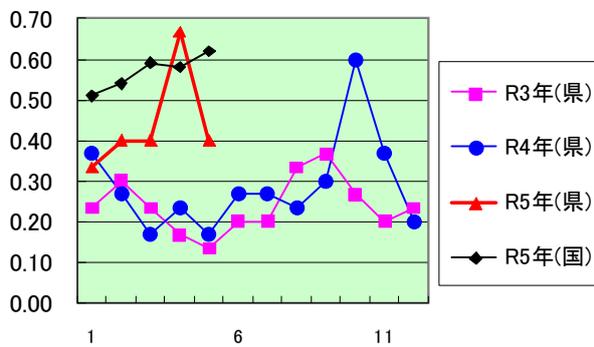
性器クラミジア感染症



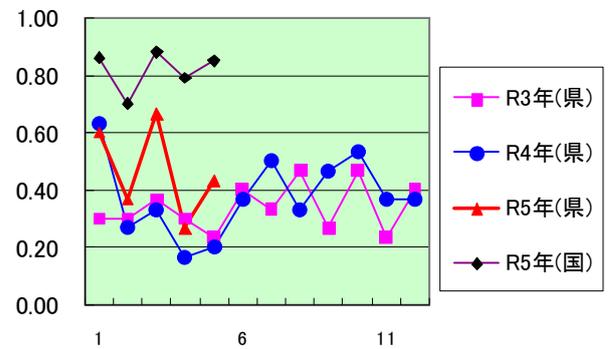
性器ヘルペスウイルス感染症



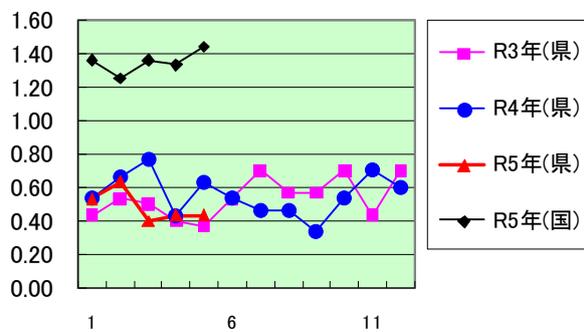
尖圭コンジローマ



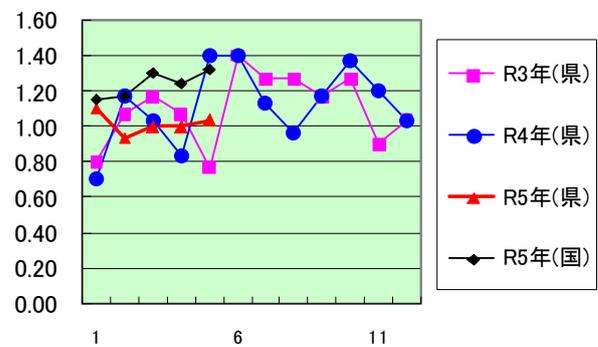
淋菌感染症



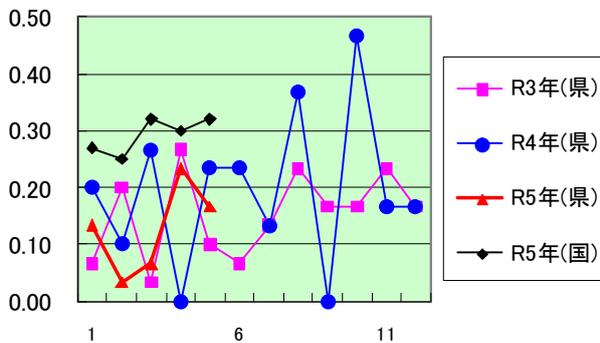
性器クラミジア感染症(男)



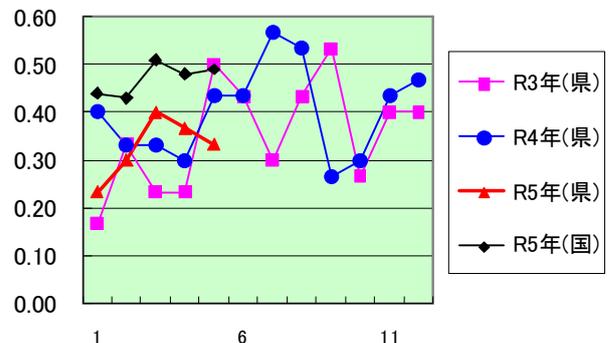
性器クラミジア感染症(女)



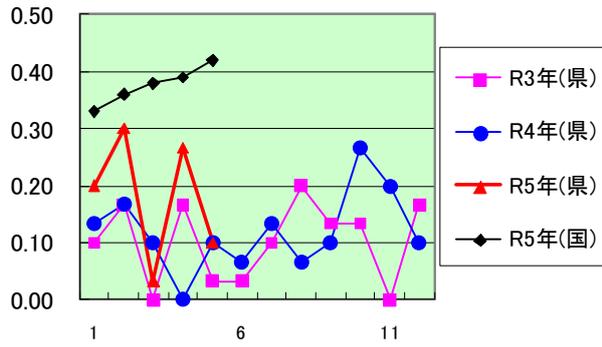
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



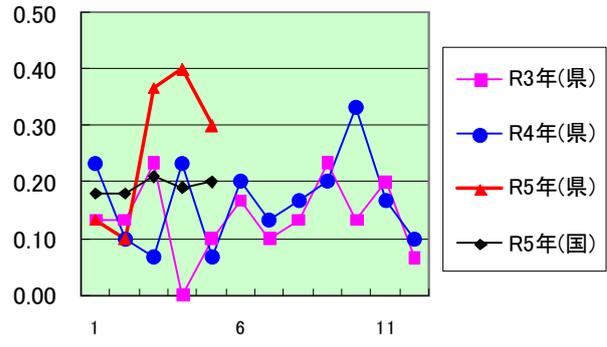
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



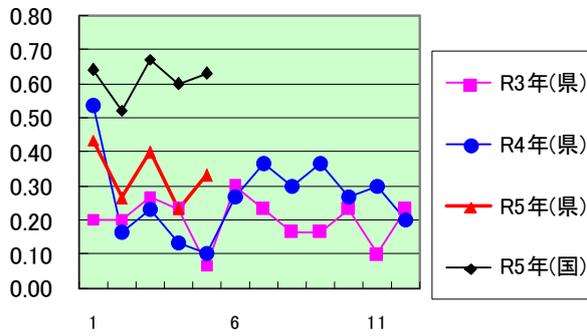
尖圭コンジローマ(男)



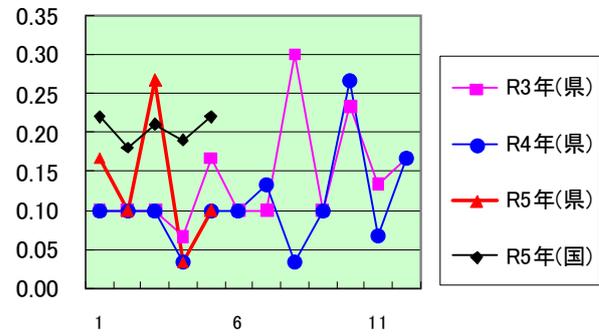
尖圭コンジローマ(女)



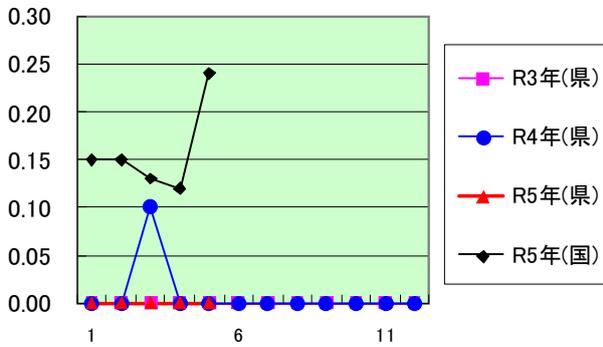
淋菌感染症(男)



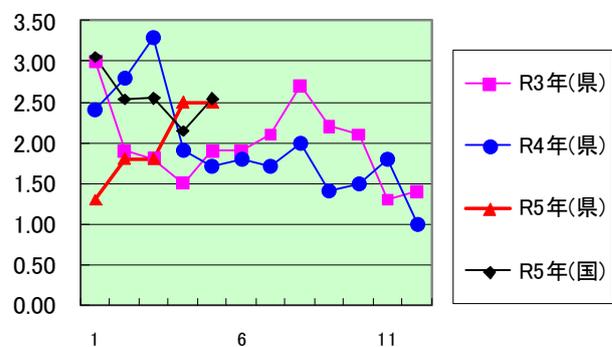
淋菌感染症(女)



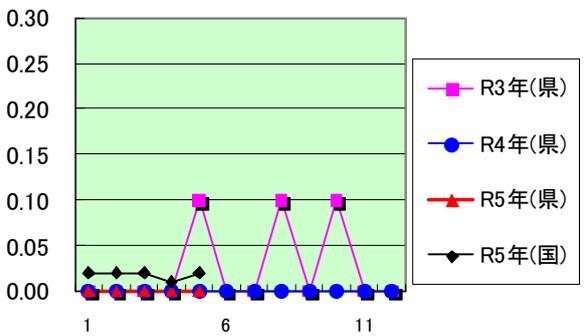
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

提供日 2023/07/06  
タイトル インフルエンザの流行が終息しました  
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課  
連絡先 ふじのくに感染症管理センター  
TEL 055-928-7272



Shizuoka Prefecture

## ～インフルエンザの流行が終息しました～

2023年第26週（6/26～7/2）の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が**0.54人**に減少し、**2週続けて、流行期の目安とされている1未満となり、県内の流行が終息したと見られます。**

今シーズンのインフルエンザの流行は終息しましたが、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ等、小児を中心に流行が拡大している感染症がありますので、引き続き、手洗いの励行、人が集まる室内の換気、体調不良時の咳エチケット等、一般的な感染症対策に努めていただくようお願いします。

なお、県内で6月まで流行期が続いたことは、記録が残る2006年以降、初めてです（過去に最も遅くまで、定点当たり1を超えていたのは、2013年第21週（5/20～5/26））。また、定点当たり報告数1を超え流行期に入ったものの、注意報レベル（定点当たり患者数10）とならなかったのは初めてで、**大きくない流行が長く続くシーズンとなりました。**

1.13 ⇒ 0.79 ⇒ 0.54  
(第24週：6/12～6/18) (第25週：6/19～6/25) (第26週：6/26～7/2)

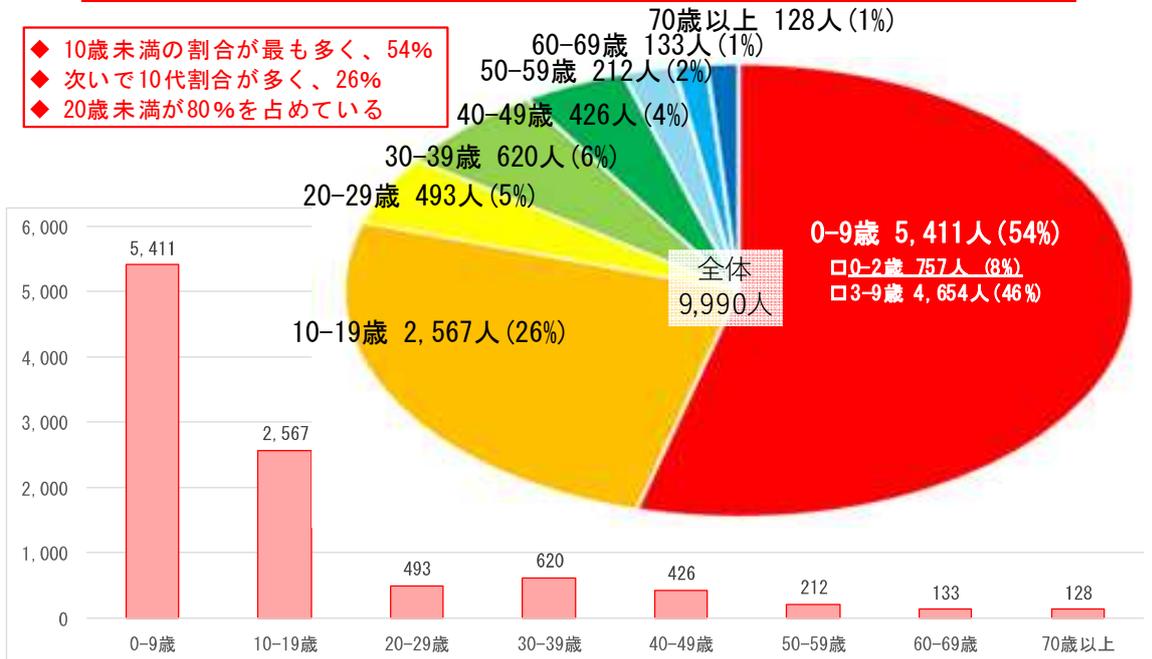
### <参考>

- インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関の1医療機関当たりの1週間の患者数です。
- 流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。
- 今シーズン、初めて定点当たり1を超えて流行入りしたのは、2022年第51週（12/19～12/25）です。
- 10歳未満の感染者が約54%、20歳未満の感染者が約80%を占めており、若年層を中心とした流行となりました。

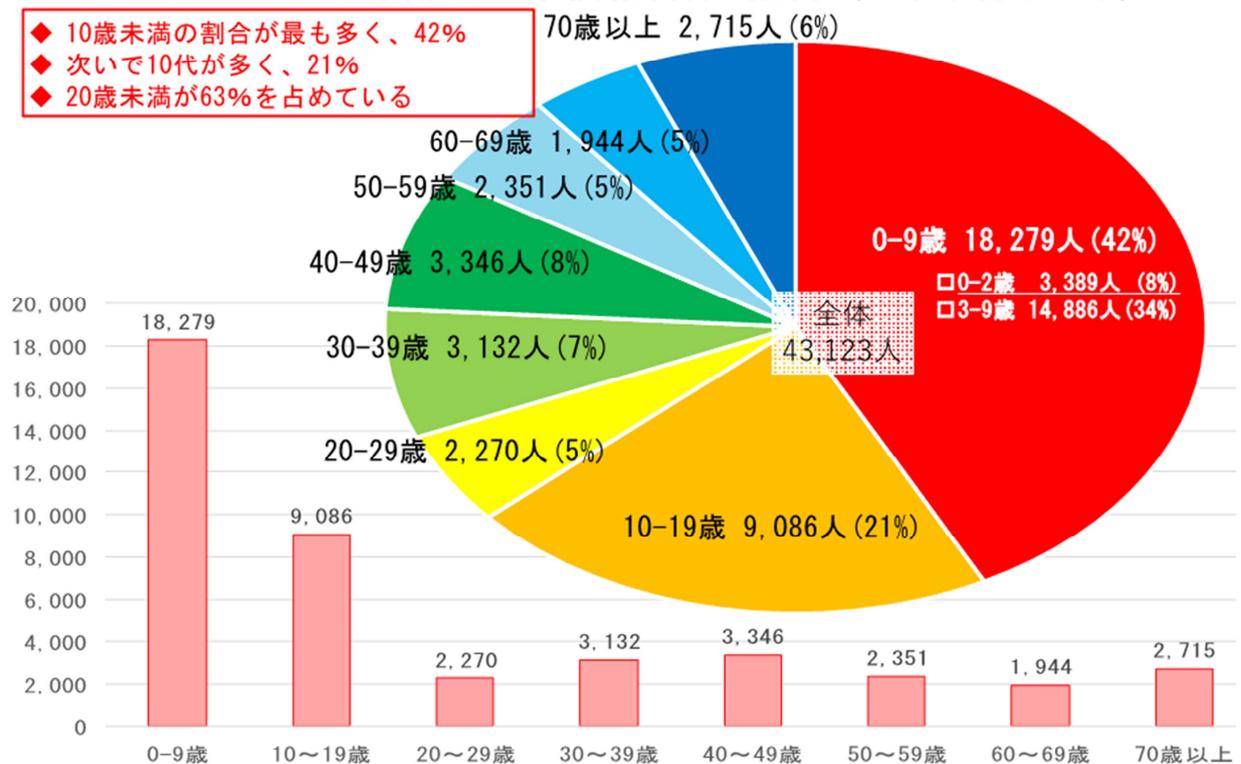
### <引き続き、一般的な感染症対策に努めていただきますようお願いいたします>

- 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 体調が悪い場合には、人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

**静岡県の2022-2023シーズン  
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合  
2022年第51週～2023年第24週(12/19-6/18) (政令市含む全県)**

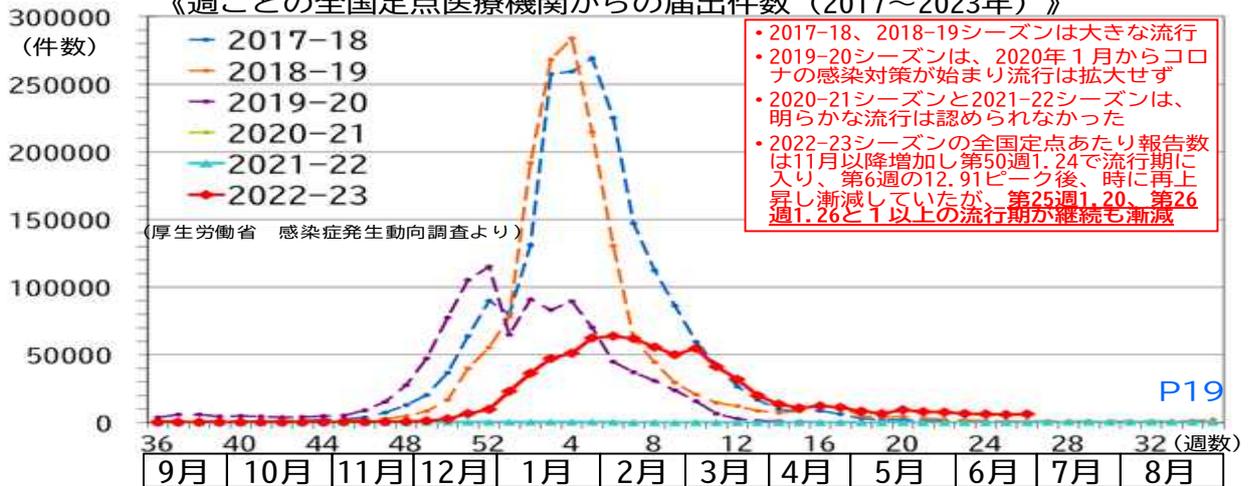


**前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの  
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)**

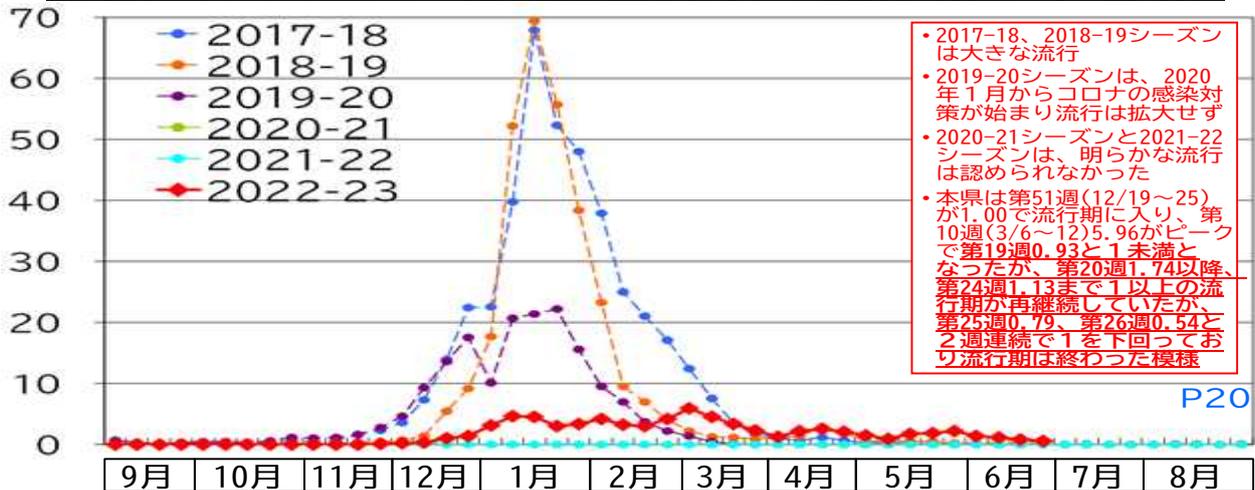


### 全国 今季のインフルエンザ流行状況（6/26～7/2 第26週時点）

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》

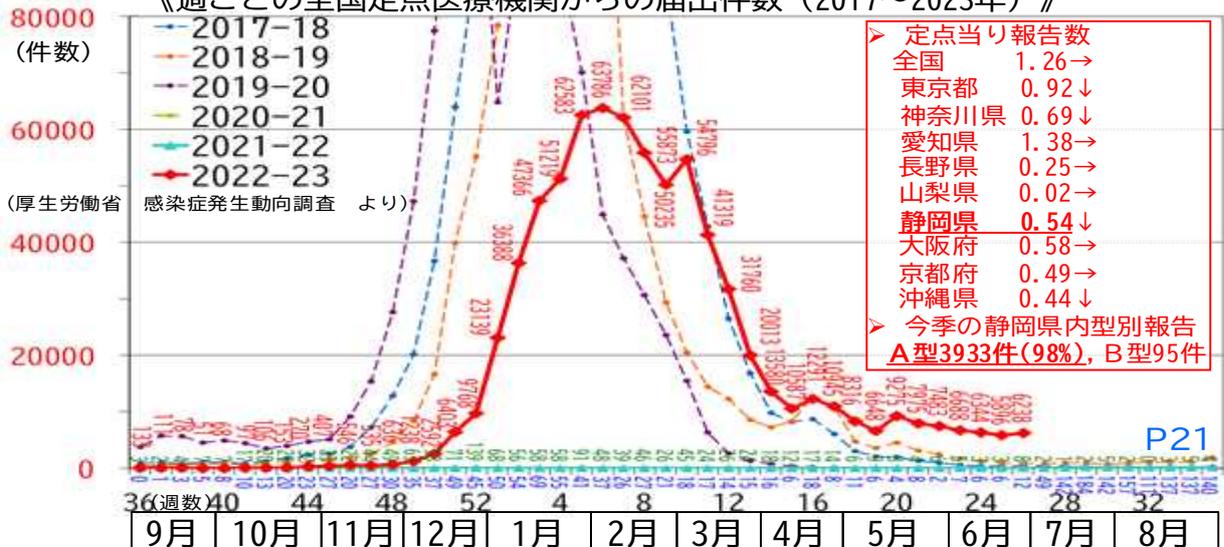


### 静岡県 インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数（2017-18～22-23）

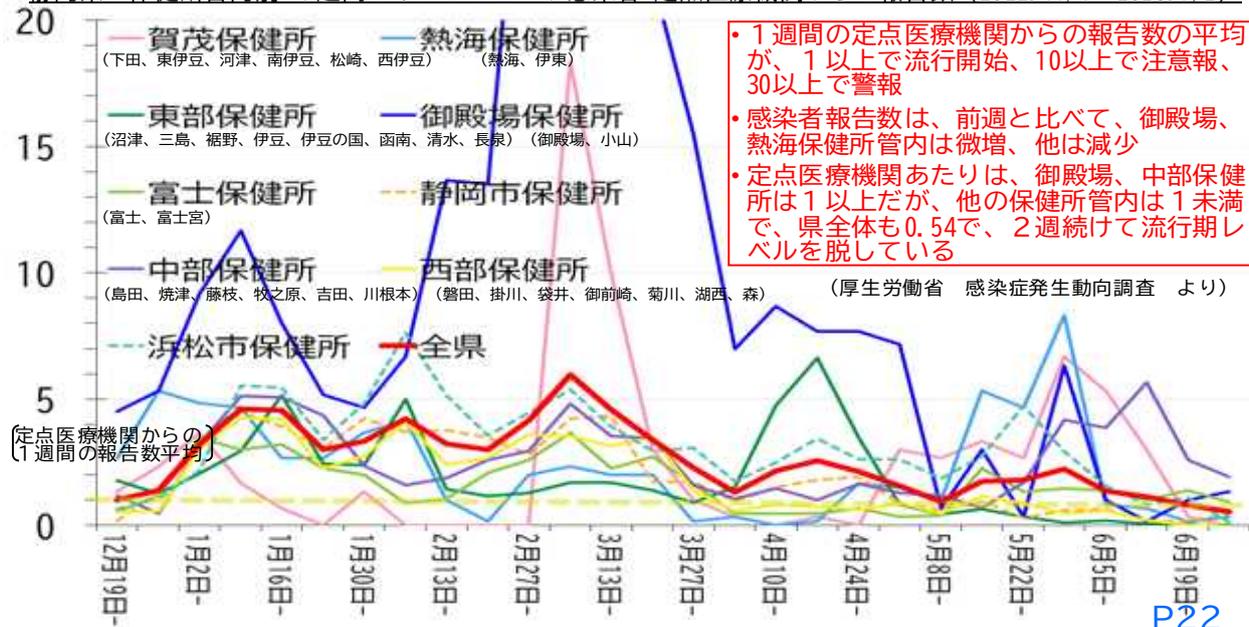


### 全国 今季のインフルエンザ流行状況（6/26～7/2 第26週時点）【拡大】

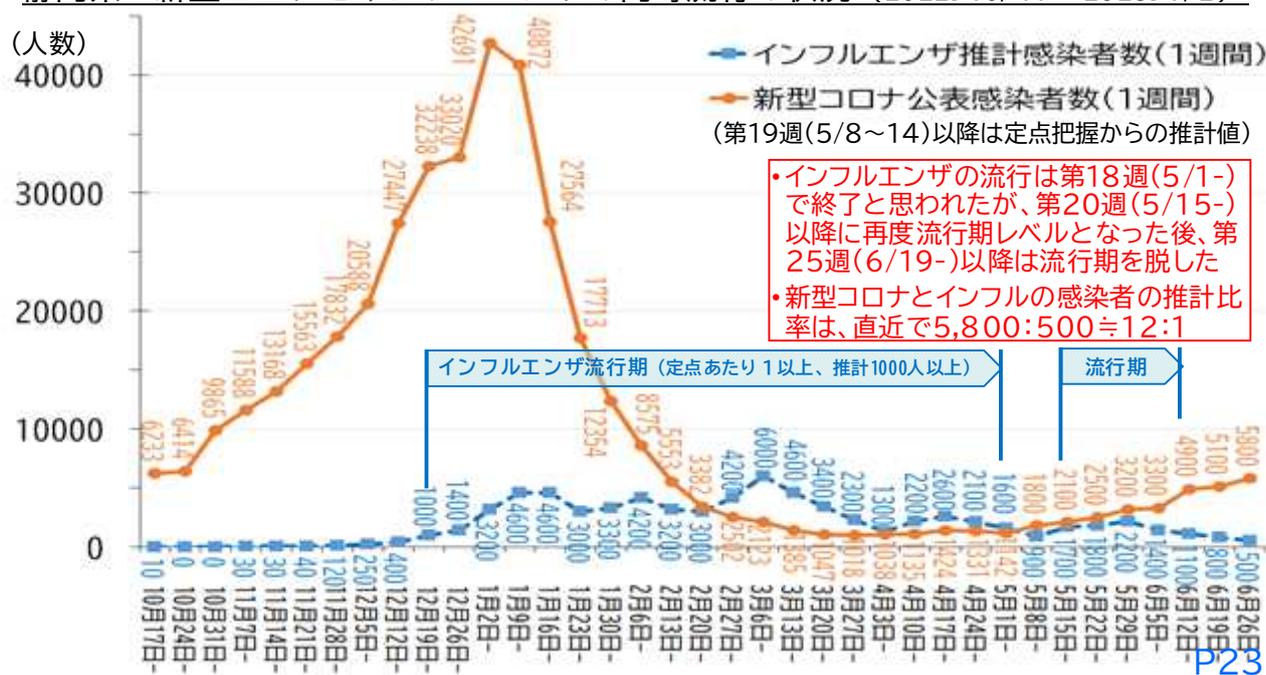
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》



静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.11/7~2023.7/2)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/17~2023.7/2)



# 新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

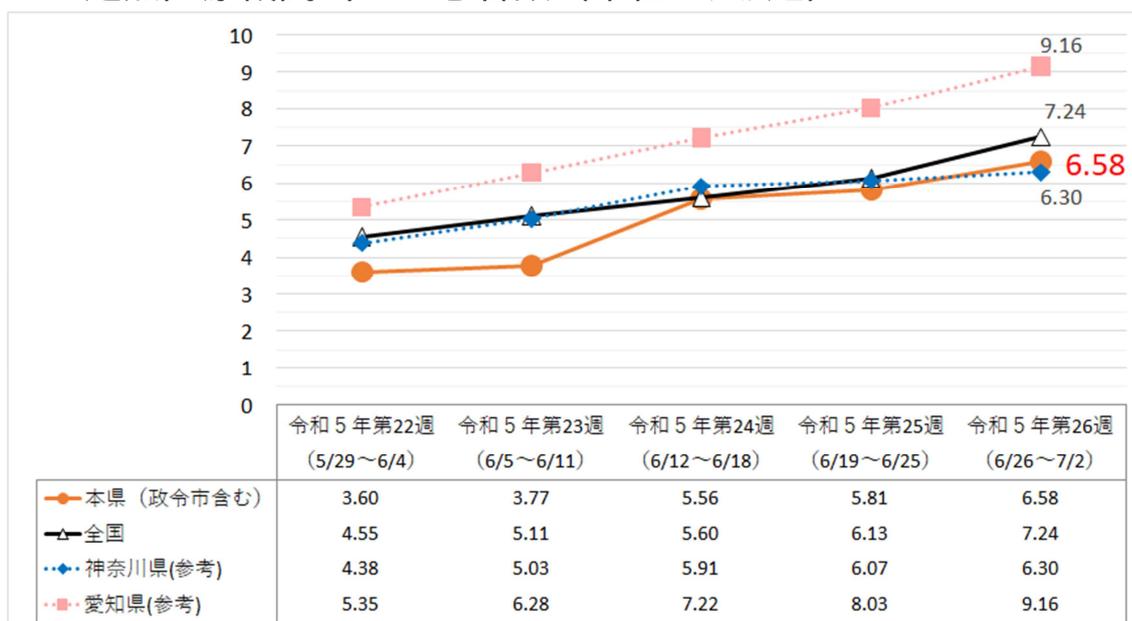
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

## 令和5年第26週（令和5年6月26日～7月2日）

### ★令和5年第26週の感染状況について

- ・ 県全体の定点医療機関当たり患者数は6.58人／週で、前週(5.81人／週)に比べて増加しています。
- ・ この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は915人で、前週(808人)に比べて1.13倍です。
- ・ この1週間の全感染者数は、約5,800人(1日平均約830人)と推計されます。
- ・ 東・中・西の地域別では県東部地域、保健所管内別では熱海保健所管内、御殿場保健所管内が注意報レベルとなっています。

### 1 定点医療機関当たり患者数（単位：人／週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

## 2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第26週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の感染者数 (B)	定点医療機関当たりの感染者数 (B/A)
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	31	10.33
熱海	熱海市、伊東市	6	67	11.17
東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	20	137	6.85
御殿場	御殿場市、小山町	6	136	22.67
富士	富士市、富士宮市	15	154	10.27
<b>県東部地域</b>		50	525	10.50
静岡市	静岡市	25	122	4.88
中部	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	17	80	4.71
<b>県中部地域</b>		42	202	4.81
西部	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	97	5.11
浜松市	浜松市	28	91	3.25
<b>県西部地域</b>		47	188	4.00
<b>県全体</b>		139	915	6.58

## 3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	定点医療機関数	第22週 (5/29~6/4)	第23週 (6/5~6/11)	第24週 (6/12~6/18)	第25週 (6/19~6/25)	第26週 (6/26~7/2)	前週比推移	県独自の注意報レベル※
賀茂	3	4.00	3.00	4.33	7.00	10.33	↓ ↑ ↑ ↑	13以上
熱海	6	8.50	8.33	11.17	15.00	11.17	↓ ↑ ↑ ↓	9以上
東部	20	5.85	3.60	6.40	5.65	6.85	↓ ↑ ↓ ↑	8以上
御殿場	6	9.33	13.33	10.50	19.83	22.67	↑ ↓ ↑ ↑	17以上
富士	15	4.53	6.13	11.33	8.20	10.27	↑ ↑ ↓ ↑	11以上
<b>県東部地域</b>	50	6.08	6.06	8.82	9.32	10.50	↓ ↑ ↑ ↑	10以上
静岡市	25	2.16	2.92	4.56	4.68	4.88	↑ ↑ ↑ ↑	6以上
中部	17	2.12	1.65	3.24	4.00	4.71	↓ ↑ ↑ ↑	8以上
<b>県中部地域</b>	42	2.14	2.40	4.02	4.40	4.81	↑ ↑ ↑ ↑	7以上
西部	19	2.47	3.05	3.58	4.05	5.11	↑ ↑ ↑ ↑	10以上
浜松市	28	2.11	2.21	3.39	2.86	3.25	↑ ↑ ↓ ↑	7以上
<b>県西部地域</b>	47	2.26	2.55	3.47	3.34	4.00	↑ ↑ ↓ ↑	8以上
<b>県全体</b>	139	3.60	3.77	5.56	5.81	6.58	↑ ↑ ↑ ↑	8以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

## 4 警報・注意報

区分	感染状況	地域名※ (東部・中部・西部)	保健所名
注意報 レベル	感染者が急増するおそれがある状況	県東部地域	熱海保健所管内（熱海市、伊東市） 御殿場保健所管内（御殿場市、小山町）
警報 レベル	感染者の増加が続き、医療の ひっ迫のおそれがある状況	なし	なし

※県内を3つの地域に分けた場合に、当該地域の定点医療機関当たり患者数が注意報(警報)レベルとなっている地域名を表示します。地域内の保健所全てが注意報(警報)レベルとなっていることを示すものではありません。

### <注意報レベルの地域の皆様へ>

注意報レベルの地域では、今後、感染者が急増する可能性がありますので、お住まいの皆様はできるだけ、以下の点に御留意いただくようお願いします。

- ① 医療機関の受診時や医療機関・高齢者施設の訪問時にはマスク着用をお願いします。
- ② 急に体調が悪くなった時は、しばらく仕事や学校は休んで、自宅で療養をしてください。
- ③ 人が集まる場所では、換気に注意し、咳・くしゃみが出るときは、ハンカチ等で口をおおうなど咳エチケットをお願いします。

## 5 感染者全数の推計値

保健所名	定点医療機関の 感染者数 (A)	管内の 定点割合 (B)※1	管内の感染者 全数の推計値 (A/B) ※2
賀茂	31	0.335	-
熱海	67	0.268	-
東部	137	0.150	-
御殿場	136	0.505	-
富士	154	0.215	-
<b>県東部地域</b>	525	0.221	2376
静岡市	122	0.109	-
中部	80	0.154	-
<b>県中部地域</b>	202	0.125	1616
西部	97	0.166	-
浜松市	91	0.117	-
<b>県西部地域</b>	188	0.134	1403
<b>県全体</b>	915	0.158	5791

### ※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

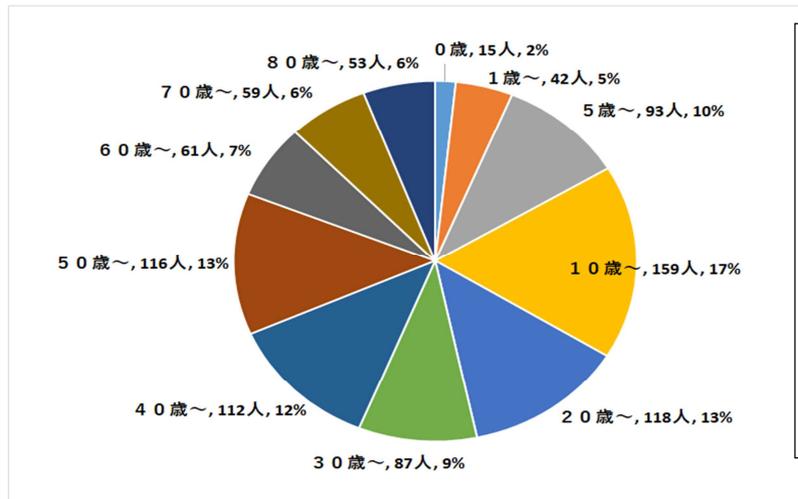
### ※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $915 \div 0.158 = 5791$  人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

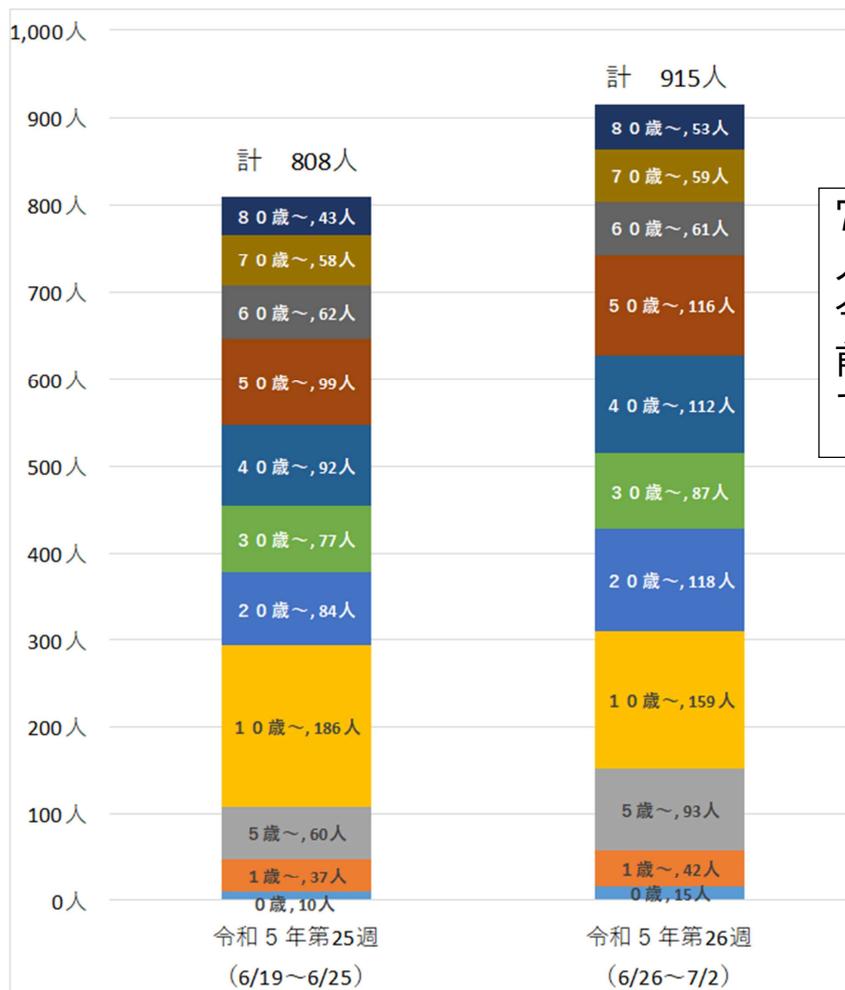
## 6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
15人	42人	93人	159人	118人	87人	112人	116人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
61人	59人	53人	0人	915人



70歳以上の割合は12%です。前週と比較して年代の比率に大きな変化はありません。



70歳以上の人数は、今週は112人前週は101人です。

## 7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第22週 (5/29～6/4)	71,329	234,577	21.28%	21.09%
令和5年第23週 (6/5～6/11)	66,299	300,876	27.29%	27.59%
令和5年第24週 (6/12～6/18)	59,007	359,883	32.65%	33.43%
令和5年第25週 (6/19～6/25)	51,562	411,445	37.33%	38.51%
令和5年第26週 (6/26～7/2)	47,643	459,088	41.65%	42.87%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

### 令和5年春開始接種の概要

○接種時期 令和5年5月8日開始

○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者（接種の努力義務あり）
- ・医療従事者及び高齢者施設等従事者（接種の努力義務なし）

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー社及びモデルナ社） 前回接種から3か月以上経過
- ・武田社ワクチン（ノババックス） 前回接種から6か月以上経過

変異株に関する項目については、4月3日（月）分から当面の間、2週間ごとに集計しています。  
（今回の公表はありません）